伝えたい、守りたい、まちの宝物

先人の宝

【File No. 8 浅間七福万歳 あさましちふくまんざい】

優雅で、ときに滑稽な歌と踊りが 15 分ほど続く

大井町岡瀬沢地区の氏神の冨士浅間神社に伝わる伝統芸能。御殿万歳（ごてんまんざい）の流れをくみ、1931（昭和 6）年夏の例大祭で初めて奉納された。住民の無病息災と家内安全、五穀豊穣を祈願し、青年団が中心となり伝承してきたが、1963（昭和 38）年に青年団の解散で休止に至った。しかし、20年後の 1983（昭和58）年に地元で保存会を結成し復活。翌年には子ども万歳も始まり、市無形民俗文化財に指定された。

万歳は、扇を持った烏帽子（えぼし）姿の１人の太夫（たゆう）と鼓を持った６人の才蔵（さいぞう）が鼓を打ち、歌いながら優雅に舞う。歌は「鶴にも勝りし亀にも優れしめでたくも」から始まり、１本１本柱を立てて家を造り、その門に鶴が来て巣を作り、亀が現れて飾り物を置いた所へ七福神が来て舞いを舞うという、めでたい内容となっている。

ひとロメモ

正月元旦の午前０時と８月の例大祭に神社の拝殿で奉納される。現在、子ども万歳は休止しているが、保存会が地元の小学校の社会科授業で披露するなど、後継者育成も兼ねて復活を目指した活動に取り組んでいる。

恵那写真館

私の大好きな１枚

（撮影地：飯地町）

飯地町　纐纈（こうけつ） 和恵（かずえ）さん

私の住む飯地は、標高 600㍍ほどで、木曽川から上へ上へと登ります。途中、眼下に見える笠置ダムの春夏秋冬の風景は、いつも心を豊かにしてくれます。

笠置ダムの紅葉

□**応募方法**　写真か画像データと❶住所❷氏名（ふりがな）❸電話番号❹題名❺写真の場所（町名）❻お薦めの理由（70字以内）―を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで企画課広報広聴係へ提出する。

次号は１月15日号
発行日は１月15日㈬です

広報えな No.211
2013年（平成25年）12月21日発行

発行　恵那市役所／編集　企画課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
TEL(0573)26-2111／FAX25-6150／（IP電話）050-5808-9521
http://www.city.ena.lg.jp/　✉ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』１月１日号、１部当たりの印刷経費は約14.0円（税込み）です。

◀市ウェブサイト（閲覧用QRコード）
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

◀市メール配信サービス（登録用QRコード）
音声告知放送の文字版ページ▶（閲覧用QRコード）
問 防災情報課（内線317）

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。
VEGETABLE OIL INK